

政 策 討 論 会 報 告 書

開催日時	令和7年2月8日（土） 午後1時30分から午後3時			
開催場所	こどもと福祉の未来館			
出席議員	植竹成年	谷口雅典	長岡恵子	
	神戸鉄郎	花岡健太	大久保竜一	
	青木利幸	石原 昂		
	委員長	植竹成年	副委員長	谷口雅典
	記録者	大久保竜一	活動報告	大久保竜一
講師	なし			
参加人数	48人			
内 容	【テーマ】 どう考える？所沢市の特別支援学級を！			
	【内容】 副委員長より、これまでの執行部への審査をはじめ、特別支援学級に精通している坂本條樹氏を参考人として招き審査を行うほか、市内の特別支援学級の現地調査や、他市の先進事例の取組を調査するために行った行政視察など、委員会の活動報告を行った。			
	続けて、植竹委員長の司会により、委員7人により、以下の点について討論が行われた。			
	1、当市の現状について			
	市内47校中42校と約90%の学校に設置されており、埼玉県の目標値80%は超えており、毎年設置校を増やすなど積極的に取り組んでいる。			
	対応できる障害にばらつきがあり、地域ニーズにより対応していくことが課題。			
	2、在籍児童生徒の増加傾向の要因			
	社会的要因や環境変化、障害に対する認識の浸透、支援充実、診断技術向上等。			
	3、今できることについて			
	特別支援教育推進計画策定、福祉との連携、地域で育てる意識の醸成など。			
	4、他自治体の先進事例を学んで			
	日野市の特別支援教育推進計画を参考に、教育委員会と市庁部局の連携を。			
	5、参考人坂本條樹氏の意見を聞いて			
	学びの選択肢を増やし、通常学級と連携した教育環境の充実を図ることが重要。			
	6、総括			
	所沢市が取り組むべき特別支援学級の充実について各委員が見解を述べた。			
これまでの当委員会での審査や調査等を踏まえ、各委員が感じたことや想いについて、ポイントをしぼり意見を述べることができた。				
これらの活動をもとに見えてきた課題に対し、今後、提言をまとめていきたい。				

所沢市議会議長 松本 明信 様

令和7年2月17日

上記のとおり報告します。

市民文教常任委員会委員長 植竹 成年